

ICT街づくり推進事業における主な成果事例

- ① センサーネットワークによる鳥獣被害対策（長野県塩尻市）
- ② マイナンバーカードの活用を想定した母子健康支援（群馬県前橋市）
- ③ マイナンバーカードの活用を想定した高齢者の健康見守り（鳥取県南部町）
- ④ クラウドを活用した森林資源の情報共有（岡山県真庭市）

センサーネットワークによる鳥獣被害対策

課題

- ✓ 長野県塩尻市では、イノシシ等が水田を荒らすことによる米収穫高の減少や耕作放棄地の拡大が年々深刻化。
- ✓ 電気柵や罠の設置などハード面での対策を実施するも、効果は限定的。

実証内容

- ✓ 塩尻市が同市内の北小野地区において、水田周辺に獣検知センサーや罠捕獲センサーを設置。
- ✓ 獣検知センサーが獣を検知すると、①サイレン音やフラッシュ光で獣を追い払うとともに、②検知情報がクラウドを介して農家や猟友会に地図付のメールで配信され、迅速な追い払いや捕獲に寄与。
- ✓ 罠捕獲センサーが罠に獣が掛かったことを検知すると、その情報がクラウドを介して農家や猟友会に地図付のメールで配信され、罠に掛かった獣の迅速な撤去に寄与。(平成24～25年度:計6匹を捕獲)

成果・効果

- ✓ 北小野地区(稲作面積約27ha(※1))における実証の結果、被害面積が減少、稲作収入の増大が期待。

	平成23年度	平成24年度 (実証1年目)	平成25年度 (実証2年目)
被害面積(※2) [%]	85	20	0
稲作収入(※3) [万円]	354	1,890	2,362

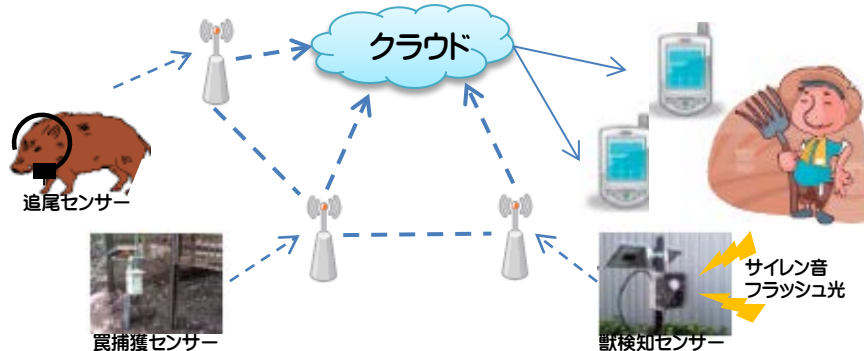
※1 塩尻市全体の稲作面積(約700ha)の約4% ※2 地元農家への聞き取り調査に基づき、日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社が推計

※3 耕作可能面積及び1ha当たりの平均稲作収入を基に、日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社が推計

長野県塩尻市は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H24～25年度)を実施。



罠捕獲センサー



獣検知センサー

マイナンバーカードの活用を想定した母子健康支援

課題

- ✓ 健康管理の分野においては、医療機関や小学校、幼稚園等における健康診断情報などが一元的に管理されておらず、市民にとって情報を入手しにくい状況であることが課題。

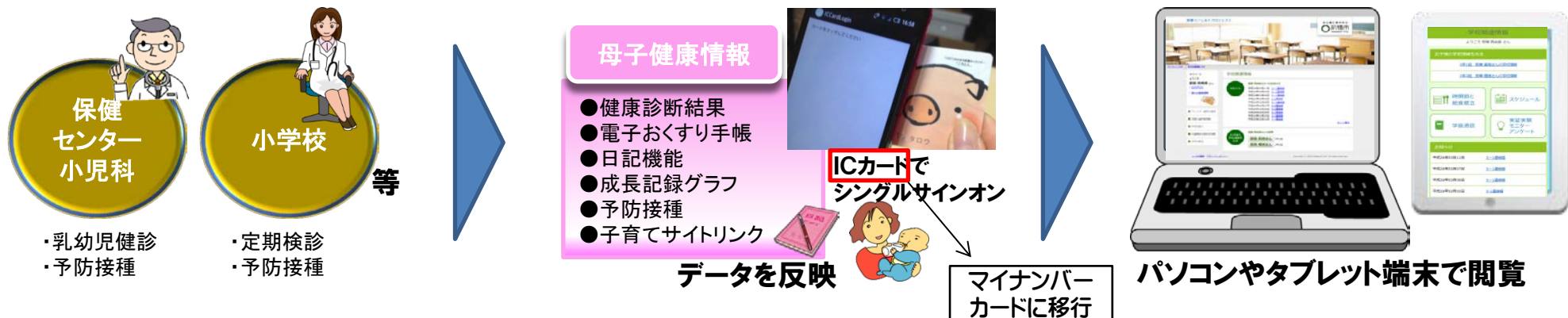
実証内容

- ✓ 幼児や児童を持つ世帯を対象に、過去の母子健康手帳の記録を電子化。現在の健康記録と結びつけ、予防接種記録や医療機関、保健センター、小学校等における検診情報も記載することで、一貫した子供の健康情報を提供。ICカードをリーダー等にかざすだけでログインできるシステムを実装。
- ✓ また、診療所や拠点病院等の医療機関間で検査画像等の画像情報を共有し、ICカードを用いた個人認証により閲覧出来る仕組みを構築。
- ✓ マイナンバーカードの配付開始後は、マイナンバーカードを使用。

成果・効果

- ✓ 電子母子健康手帳については、実証実験に参加した市民へのアンケートでは8割以上がサービスの継続・実用化を希望。
- ✓ 上記システムの自立的・継続的な運営を担う組織を設立(平成27年3月)。

群馬県前橋市は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H25・26年度)を実施。



マイナンバーカードの活用を想定した高齢者の健康見守り

課題
目的

- ✓ ケーブルテレビとマイナンバーカードの活用を想定した地域住民向けの高齢者・子ども見守りサービスの実現可能性を検討するとともに、地域課題である少子高齢化への対策と新産業の創出を目的とする。

実証
内容

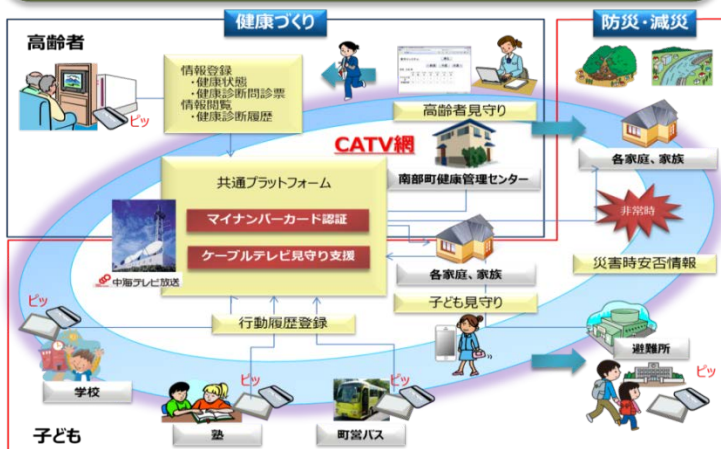
- ✓ マイナンバーカードを模したICカードにより認証を行い、高齢者等が自身の健康状態をテレビのリモコンで簡単に登録できる仕組みを構築。登録したデータは町の健康管理センターの保健師が閲覧し、見守りと健康支援に活用。
- ✓ 町内の小学生にICカードを配布し、登下校時に学校、図書館等に設置したリーダーにカードをタッチすることにより、保護者にメールが届く仕組みを構築。保護者は、簡単なリモコン操作によりテレビ画面上でも行動履歴を参照。

効果
成果

- ✓ アンケート調査を実施し、サービスの実現可能性等を調査。
 (・例えば、高齢者見守りについては、アンケートでは62.0%の利用者がサービスの継続・実用化を希望し、「サービスが実用化された場合に支払ってもよい」と思える1人当たりの利用料は、平均488円/月。
 ⇒328人以上に展開できれば事業化が可能となる見込み。)

鳥取県南部町は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H26年度)を実施。

なんぶスマートライフ・プロジェクト推進事業



個人番号カードの読み取り

マイナンバーカードと次世代STBを利用した個人認証

日々の健康状態をクラウドへ登録

マイナンバーカードによる高齢者見守り

なんぶ 健康づくりサービス

～～ これまでの健康診断受診履歴です ～～

2014年 8月30日	定期検診	南部町国民健康保険 西伯病院
2014年 6月 1日～2014年 7月31日	健康診断受診者	
2013年 7月20日	がん検診	南部町国民健康保険 西伯病院
2012年 9月10日	定期検診	〇さか内科・脳神経内科クリニック
2011年 7月 9日	定期検診	瀬医院
2010年 6月 3日	定期検診	瀬医院
2009年 7月19日	定期検診	瀬医院
2008年 7月29日	定期検診	瀬医院

行政保有の健康診断データ閲覧

マイナンバーカード導入を見据えた行政住連携

行動履歴の可視化による安否確認

なんぶスマートライフ 交通履歴

日時	場所	移動距離
2014年10月10日 17:00	自宅	0m
2014年10月10日 17:05	学校	100m
2014年10月10日 17:10	学校	200m
2014年10月10日 17:15	学校	300m
2014年10月10日 17:20	学校	400m
2014年10月10日 17:25	学校	500m
2014年10月10日 17:30	学校	600m
2014年10月10日 17:35	学校	700m
2014年10月10日 17:40	学校	800m
2014年10月10日 17:45	学校	900m
2014年10月10日 17:50	学校	1000m
2014年10月10日 17:55	学校	1100m
2014年10月10日 18:00	学校	1200m
2014年10月10日 18:05	学校	1300m
2014年10月10日 18:10	学校	1400m
2014年10月10日 18:15	学校	1500m
2014年10月10日 18:20	学校	1600m
2014年10月10日 18:25	学校	1700m
2014年10月10日 18:30	学校	1800m
2014年10月10日 18:35	学校	1900m
2014年10月10日 18:40	学校	2000m
2014年10月10日 18:45	学校	2100m
2014年10月10日 18:50	学校	2200m
2014年10月10日 18:55	学校	2300m
2014年10月10日 19:00	学校	2400m
2014年10月10日 19:05	学校	2500m
2014年10月10日 19:10	学校	2600m
2014年10月10日 19:15	学校	2700m
2014年10月10日 19:20	学校	2800m
2014年10月10日 19:25	学校	2900m
2014年10月10日 19:30	学校	3000m
2014年10月10日 19:35	学校	3100m
2014年10月10日 19:40	学校	3200m
2014年10月10日 19:45	学校	3300m
2014年10月10日 19:50	学校	3400m
2014年10月10日 19:55	学校	3500m
2014年10月10日 20:00	学校	3600m
2014年10月10日 20:05	学校	3700m
2014年10月10日 20:10	学校	3800m
2014年10月10日 20:15	学校	3900m
2014年10月10日 20:20	学校	4000m
2014年10月10日 20:25	学校	4100m
2014年10月10日 20:30	学校	4200m
2014年10月10日 20:35	学校	4300m
2014年10月10日 20:40	学校	4400m
2014年10月10日 20:45	学校	4500m
2014年10月10日 20:50	学校	4600m
2014年10月10日 20:55	学校	4700m
2014年10月10日 21:00	学校	4800m
2014年10月10日 21:05	学校	4900m
2014年10月10日 21:10	学校	5000m
2014年10月10日 21:15	学校	5100m
2014年10月10日 21:20	学校	5200m
2014年10月10日 21:25	学校	5300m
2014年10月10日 21:30	学校	5400m
2014年10月10日 21:35	学校	5500m
2014年10月10日 21:40	学校	5600m
2014年10月10日 21:45	学校	5700m
2014年10月10日 21:50	学校	5800m
2014年10月10日 21:55	学校	5900m
2014年10月10日 22:00	学校	6000m

マイナンバーカードを活用した子どもの行動履歴確認

クラウドを活用した森林資源の情報共有

課題

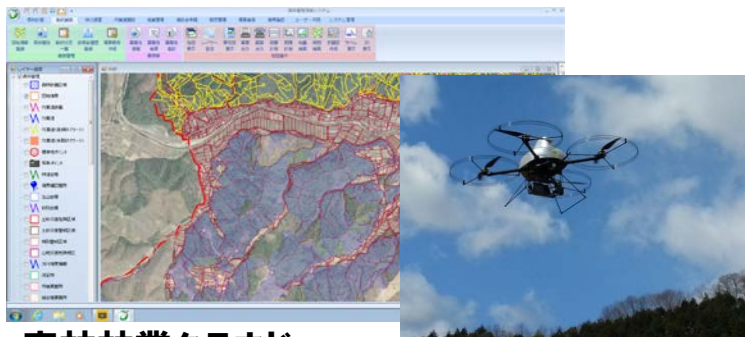
- ✓ 岡山県真庭市は、美作(みまさか)地方に位置する地方都市(成熟都市)であり、面積の8割を森林が占める。
- ✓ 木材産業が発展しており、木質バイオマス発電所が平成27年度より稼働。燃料等森林資源の安定供給が課題。
- ✓ 過去に、大型台風の襲来による大規模な風倒木被害が発生。資源保全・土砂災害防止の視点から対策が必要。

実証内容

- ✓ 地番現況図を共通IDとした森林林業クラウドを導入し、行政機関と資源生産事業者との情報共有を促進。
- ✓ ロボットセンサー(UAV)を導入、樹木の位置や種類等を上空から柔軟に把握する体制を構築。
- ✓ 上記を災害時に活用し、風倒木や土砂災害発生箇所を迅速に把握し、関係者にて共有。

成果・効果

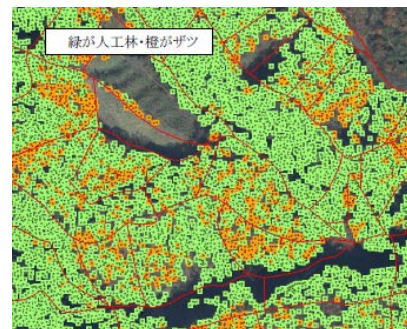
- ✓ 森林組合が土地所有者情報を把握する際、従来は1区画に2人がかりで終日(8時間程度)費やしていたが、森林林業クラウドを用いた地番現況図の閲覧によって、簡易な画面上の操作(1分程度)で作業を完了させることが可能となった。
- ✓ また、森林資源の分布(樹木の種類別面積、生育状況等)を把握する際、従来は1区画に2人がかりで終日(8時間程度)費やしていたが、ロボットセンサーを用いた空中写真等、森林林業クラウドに蓄積された情報の活用により、簡易な画面上の操作(1分程度)で作業を完了させることが可能となった。



森林林業クラウド

ロボットセンサー

岡山県真庭市は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H25年度)を実施。



森林資源量の把握・関係者間の共有

森林資源の有効活用
木質バイオマス発電等への
燃料安定供給